



6月1日からの学校再開で、3ヶ月におよぶ休校期間が終わり、分散登校が開始されました。

直前まで登校日や下校時刻がわからず、お迎え対応ができるか心配でしたが、ご家族のご協力で、なんとか通常授業開始までのお迎え対応も目途がつけました。入学式やお友達との

再会など、嬉しいことがある一方、「新しい生活様式」での学校生活や、不規則な時間割などで、体調や気持ちに変化が出ることもあるかと思えます。こんな時期だからこそ、これまでの感染対策を継続しつつ、放課後のひとときを安心して、笑顔で楽しく過ごして貰えるよう、しっかりと寄り添いたいと考えています。

休校期間にデイをお休みされていた方も学校再開とともに合流され、休校期間中にやった工作や、久しぶりに会うお友達との会話などを楽しまれました。新しく利用を開始された方も加わり、さらに賑やかになりそうです。

今号では学校再開前の5月の活動の様子を振り返ります。どうぞお楽しみください。



5月のお誕生日会

5月27日(水)に、5月のお誕生日会を開催しました。5月生まれのおふたりのうち、おひとりがお休みで、小2のお友達をみんなでお祝いしました。紹介の時は、いつもドラム



レッスンで演奏している「おさるのジョージ」テーマソングです。今月のお誕生日会でも、感染防止のため、ろうそくは吹き消さず、うちわで消してもらいましたが、ほんのひと振りですべてのろうそくが消えて大成功でした。クイズの後には、全員で「なかまさがしゲーム」に挑戦。おしゃべりをせずに、同じ動物カードを持っている相手を探し当てるのですが、動きだけでも色々なコミュニケーションができることを体験できたのではないのでしょうか。

5月の活動プログラムより



お昼ごはん・おやつの時間は、横並びに着席し、マスクを外すので、おしゃべり禁止です。早くおしゃべりしたくて、みんな食べるスピードが速くなった気がします。食事中、しんと静まり返ってしまうため、音楽を流すようにしました。ヒゲダンや、アニメ鬼滅の刃の主題歌、ディズニー映画の主題歌などがかかると、お互いに、『あの曲だね』と目で合図しあっています。

工作プログラムでは、UV レジンで、キラキラ光るキーホルダーや、宝石づくりを楽しみました。つまようじを使って、型の隅までレジンを広げたり、細かいラメを小さなスプーンですくい、小さなパーツを配置するなど、細かな手作業に真剣に取り組みました。「お店で売ってるやつみたい」、「お母さんの分も作りたい」と





好評でした。

料理プログラムは、もちもちのうどんのチュロスを作りました。うどんをねじって油で揚げ、砂糖やシロップを絡めました。「つるつる滑るうどんをねじるのが難しかったけど、美味しかった」と好評で、ご家庭でもぜひ挑戦し、テーマパーク気分を味わって頂きたいと思います。



英語プログラムは、自分の名前を英語で言う時のアクセントの位置を、名前の母音の数から考え、英語らしい発音で自己紹介する練習をしました。



ゲーム大会は、テーブルの上に並んだものを覚えて、布をかぶせ、何があったか答えるキムスゲーム、定番トランプ遊びの七ならべやじじぬきなど、グループ遊びを楽しみました。



運動プログラムは、片足立ち競争や、一本ボウリング、びよんびよんじゃんけんなどの身体を使った室内遊びを楽しみました。



音楽プログラムは、プラカップとすごろくやドミノのコマで作った手作りのマラカスで、「パプリカ」に合わせてリズム合奏を楽しみました。



他にも折り紙やペーパークラフト、レインボールームなどの制作活動や、レゴとレジャーマット、プラレールやミニカーなど、いろいろな遊びを合流させたごっこ遊び、すごろく遊びや野球盤、ベイブレード、粘土や砂あそびなど、色々なおもちゃを工夫して楽しみました。

パソコンへの入口として、ビジュアルプログラミングの「ビスケット」を紹介すると、体験したことのある上級生が下級生にやり方を教えてあげるシーンもありました。

